

科目名	英米の歴史と社会A
科目名(英訳)	British & American History and Society A
科目ナンバー	HF333D01
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	本内 直樹
単位数	2
開講学年	3年
開講セメスター	春期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: HF
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 本内 直樹: 木7-8
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	3年生以上に開講される科目(春学期)である。イギリス・アメリカの人の生活様式や文化・価値観、社会のありかたが現在までどのように変化してきたのかを学ぶ科目である。英米の歴史をきちんと知っておくことは英米文化の正確な理解に通じると同時に、かの国の人々と実りあるコミュニケーションも期待できます。英米文化を包括的に理解するための基礎領域科目と位置付けられます。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ③: ○ ④: ◎
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受容力 クリティカル思考力 / 豊かな教養 思考力 協調性・協働性(公益心)

授業の主旨 (概要)	春学期では、英米諸国の映画を素材に、中世から近代までのイギリス社会の歴史を、またアメリカの歴史も概観していく。各時代の社会・経済・政治上の出来事とその意味、また人々の生活といった細部に着目しつつも、それらを大きな歴史的变化のなかで位置づけていくことも忘れない。	
具体的 達成目標	1) 中世・近代までのイギリスの歴史、およびアメリカ独立の歴史の概観を理解でき豊かな教養を身に付けることができる。 2) 様々な歴史的要因を相互に関連付け、史実を論理的に組み立てる思考力・解釈力を身に付けることができる。 3) 事前・事後学習を通して自律した学習活動を継続して行い学び続ける能力を身に付けることができる。 4) イギリス(植民地も含む)やアメリカの人々や社会における今に通じる出来事を歴史的背景の中で理解することができる。	
	1	【内容】 第1週: 社会史とは何か
		【授業外学習】 事前: 歴史研究にはどのようなジャンルがあるのかを調べておく。 事後: 社会史に関する研究書・論文を図書館で手に取り、目次を通覧しておく。
	2	【内容】 第2週: 中世イギリス社会: 領主と農民、農村共同体
		【授業外学習】 事前: イギリス中世史に関する関連図書を探し目を通しておく。 事後: イギリス中世史の標準的テキストの目次を通覧しておく。
	3	【内容】 第3週: 中世イギリス社会: キリスト教と魔女狩り
		【授業外学習】 事前: 魔女狩りの関連図書を探し目を通しておく。 事後: 魔女狩りの世界史的展開についてまとめる。
	4	【内容】 第4週: 近代イギリス社会: 産業革命と階級社会の誕生
		【授業外学習】 事前: イギリス階級社会の生成について調べておく。 事後: 近代の技術革新と労働の変化の関連性についてまとめる。
	5	【内容】 第5週: ヴィクトリア朝時代の光と影: ヴィクトリア女王の恋愛

11 英米の歴史と社会A

授業計画	【授業外学習】	事前: ヴィクトリア女王について調べておく。 事後: ヴィクトリア女王の事績についてまとめておく。
	【内容】	第6週: ヴィクトリア朝時代の光と影: 貧困問題と貧民救済
	【授業外学習】	事前: 19世紀の貧困実態について調べておく。 事後: 19世紀の新救貧法の内容についてまとめておく。
	【内容】	第7週: ヴィクトリア朝時代の光と影: 大衆レジャーの登場
	【授業外学習】	事前: 19世紀のレジャーの内容を調べておく。 事後: 階級ごとのレジャー内容についてまとめておく。
	【内容】	第8週: 19世紀イギリス社会主義と女性参政権運動
	【授業外学習】	事前: 女性参政権運動の論点を整理しておく 事後: 社会主義思想の意義を考えまとめておく。
	【内容】	第9週: 中世から近代までのイギリス社会史の論点整理
	【授業外学習】	事前: 歴史学一般のテキストを通覧しておく。 事後: 各時代のターニングポイントについてまとめておく。
	【内容】	第10週: 19世紀イギリス帝国主義の時代: インドの植民地化
	【授業外学習】	事前: ヴィクトリア女王について調べておく。 事後: 植民地支配のありかたについてまとめておく。
	【内容】	第11週: 19世紀イギリス帝国主義の時代: 帝国意識の問題
	【授業外学習】	事前: 帝国主義の経済的・政治的背景について調べておく。 事後: 19世紀の文学作品についてまとめておく。
	【内容】	第12週: 大英帝国の動揺: インドの反英闘争と独立
	【授業外学習】	事前: ガンジーの事績について調べておく。 事後: インド独立運動の展開をまとめておく。
授業方法	【内容】	第13週: アメリカ大陸の発見と奴隷貿易
	【授業外学習】	事前: アメリカ史の標準的テキストを調べておく。 事後: アメリカ建国史をまとめておく。
	【内容】	第14週: イギリスのなかのアイランドと移民の流れ
	【授業外学習】	事前: アイランドについて調べておく。 事後: アメリカ移民史をまとめておく。
	【内容】	第15週: これまでの総括(確認テスト含む)と解説
	【授業外学習】	事前: 近代史の論点にはどのようなものがあるのか調べておく。 事後: 社会史研究の新しい論文を読んで様々な解釈の妥当性を整理しておく。
成績の評価方法	配布プリントに沿った形で講義を進める。適宜、視聴覚教材を用いる。毎回の授業で提出させるコメントシートで出た質問やコメントに対して個別にメールで回答する、もしくは翌週の授業で受講者全員に紹介し共有して理解を一層深める。	
成績の評価基準	上記の合計が60点以上を合格とする。	
教科書		
参考文献		
備考	講義の中で適宜、参考文献を紹介していく。	
関連ホームページ		
メールアドレス	本内 直樹 see8757@fsc.chubu.ac.jp	
オフィス		